

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～23℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり1.3トンの水揚げで、前週の68%（前年を上回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の73%（前年並み）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1.6kgの水揚げで、前週の59%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マサバなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり204kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日当たり8.6kgの水揚げで、前週の22%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/10～11/14の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆西～隠岐諸島北で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬～山陰沖～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）1日延3隻、総計28箱、1航海最高18箱、平均9.3箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～25入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-28号 6県ケンサキイカ情報（令和4年度 第6号）」「第4-29号 五島灘・五島西沖・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>